

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月 日			
平成15年度	事業コード	32630	電話	042-769-8270
担当部課名	土木部	下水道管理	課	施設 班
事務事業名	公共下水道不明水浸入対策事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第6節	下水道の整備と管理	11年度
施策名	第3施策	下水道管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

下水道法第3条（管理）

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
整備区域の拡大は、汚水量の総体的な増加と共に、一方で不明水の増大を招いており、下水道施設の維持管理上危機的な状況となっている。このことから、不明水の実態調査等を実施し、不明水原因の適正な把握と、効果的な排除対策を策定する。	公共下水道整備済区域
	対象数 243,400世帯
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
公共下水道不明水浸入対策 4,987,500円 平成12年度に行ったテレビ調査を基に、浸入水の個所を補修し（14年度、本管管口、人孔）、補修前及び補修後の、雨天時浸入水を比較し、削減された効果を確認する。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移（年度）				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算（見込み）
事業費					
決算（予算）額	19,425	13,020	4,987	4,400	4,400
人員・時間数	1人	1人	1人	1人	1人
人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
その他経費					
合計	27,815	21,410	13,377	12,790	12,790
特定財源					
対象数					
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	モデル地区の不明水浸入箇所を補修し、その効果を確認することで、この地区と同様の傾向をもつ他流域に対する、不明水対策の費用対効果を高める為の基礎資料が得られた。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	不明水の増大によって、処理場やポンプ場の処理能力を越える、雨水浸入汚水が流入し、管理上危機的な状況にあり、早急な不明水浸入対策が必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		流域下水道の維持管理費は、流入申請量に応じて負担金として徴収されてきた。しかし、第11次維持管理計画(平成16年度)からは、実流入量に基づき、維持管理費を負担することとなり、不明水対策は、経費節減の有効な手段の一つである。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	調査結果を、同様な流域に反映させることにより、一部調査が省略できるなど、経費の削減や時間の短縮が可能となる。又、不明水調査の進捗に伴う技術等の蓄積は、不明水対策の貴重な資料となり、より効率的な対策が可能となる。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	不明水対策を怠ることにより、原因となっていない住民や、問題の無い区域の住民までもが負担を強いられる結果となり、公平さを欠くこととなる。 事業を推進しないと逆差別を生む。推進すると、公平性が担保される。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: 浸入水の要因となる欠陥箇所の把握と、状況に応じた補修を行うことにより、施設の延命化及び機能回復が図れる。	手段	整備区域の拡大に伴い、管理施設が増加する中で経費も必然的に増加せざるを得ない状況であるが、モデル流域を参考に、効率の良い補修計画を見出し、事業費削減に努める。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	不明水流入の状況、現状の問題点及び、問題区域を明確にする事により、処理分区毎の特性を把握し、総合的な不明水排除計画を確立する。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--